

## 「ボイマンス美術館所蔵 ブリューゲル『バベルの塔』展」開催記念

### 大友克洋 「INSIDE BABEL」

「ボイマンス美術館 ブリューゲル『バベルの塔』展」が4月18日(火)より東京・上野の東京都美術館で開催されるのを記念して、「AKIRA」などで世界的に知られる漫画家で映像監督の大友克洋氏が、同作からインスピレーションを得た新作「INSIDE BABEL」を制作しました。

ブリューゲルを好きな作家の1人に挙げている大友氏が今回の制作にあたり考えたテーマは、「バベルの塔の内部構造」。制作に先立ち、実際にオランダ・ロッテルダムのボイマンス美術館などを訪れる現地取材を敢行し、美術館学芸員との意見交換などを経て構想を練りました。作品の彩色は、共同制作者であるコラージュ・アーティストの河村康輔氏が担当。大友氏による手描きスケッチを元の作品画像に合成し、その上にブリューゲルの「バベルの塔」から抽出した2万個以上の微細なパーツをデータ上で貼り合わせるデジタルコラージュ手法を用いました。

作品は、4月18日(火)から7月2日(日)までの展覧会会期中に、東京都美術館ロビー一階の企画展示室入口横ホワイエにて特別公開されています。本作品の観覧は無料。「INSIDE BABEL」複製原画や関連グッズを、展覧会特設ショップや通販サイト「朝日新聞 SHOP」(<https://shop.asahi.com/>)などで販売予定です。



「INSIDE BABEL」

大友克洋 デジタルコラージュ：河村康輔  
2017年 90×110.5cm デジタルプリント、紙